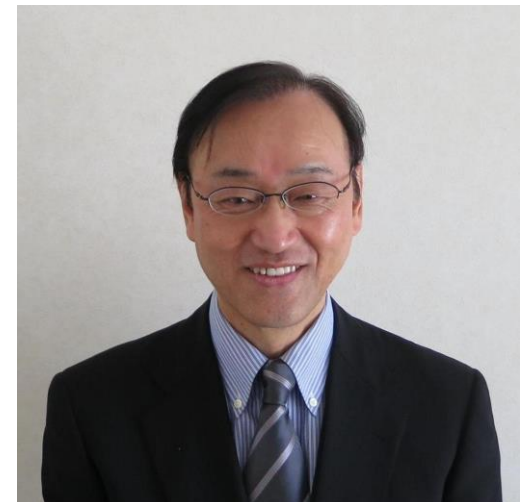


JIPA 2021年度活動状況

2022年3月25日

一般社団法人日本知的財産協会
専務理事 久慈直登



目次

1. 2021年度活動概観

方針/重点活動/会員数/東西部会/業種別部会/知財問題研究会/
少数知財研究会/関西フォーラム/委員会・PJ/人材育成事業/会誌広報事業

2. 2021年度感謝表彰者のご紹介

一般感謝表彰/研修感謝表彰

3. JIPA東京事務所移転

日本橋三丁目スクエアビル6F



4. 2021年度の主な活動

JIPA環境シンポジウム/JIPA知財シンポジウム/
国際活動 (IP3・IP5・WIPO)/国内活動 (ダイアログ)/各PJ活動

目次

1. 2021年度活動概観

方針/重点活動/会員数/東西部会/業種別部会/知財問題研究会/
少数知財研究会/関西フォーラム/委員会・PJ/人材育成事業/会誌広報事業

2. 2021年度感謝表彰者のご紹介

一般感謝表彰/研修感謝表彰

3. JIPA東京事務所移転

日本橋三丁目スクエアビル6F

4. 2021年度の主な活動

JIPA環境シンポジウム/JIPA知財シンポジウム/
国際活動 (IP3・IP5・WIPO)/国内活動 (ダイアログ)/各PJ活動



1. 2021年度活動概観

① JIPAの2021年度 理事長運営方針

世界情勢の中での2つの大きな課題を認識



- 1) 知財が**米中**貿易摩擦の一因として、対立がますます激化
- 2) 地球環境の悪化により、環境保護のための**SDGs経営**と知財による貢献が問われている

デジタル新時代により、従来の産業財産権中心から著作権、営業秘密、データなど**無形資産**を広く**知財部門で扱う**ことが必要になっている

→ **知財で新たな価値や提案をするJIPA活動のチャレンジ**



② 2021年度重点活動内容

1. 委員会・プロジェクト・部会等の組織活動の見直し・強靱化

- **ニューノーマル下の適切な活動**方法により行う

2. 人材育成・会誌広報の進化

- グローバル競争力を高める知財活動ができる人材を育成する研修の重点化。オンライン研修の進化。
- 「知財管理」「季刊じぱ」「別冊資料」の継続、配信のデジタル化推進

3. **新たな価値**や提案への未来志向活動チャレンジ

- 国際的なネットワークを活かして、新たな課題への対応、国際協調、Society5.0、SDGsへの貢献の研究など

4. ニューノーマル下の**JIPA財務の見直し**と将来への布石

5. 関係官庁との**ダイアログ推進**による産業界としての意見発信強化

③ JIPA会員数の増加



(今年度、正会員+5社、賛助会員+13社、合計+18社)

		2022年3月18日現在			2021年3月31日現在		
		関東	関西	計	関東	関西	計
正 会 員	金属・機械	172	47	219	174	46	220
	電気機器	241	70	311	241	67	308
	化学第1	143	112	396	144	110	394
	化学第2	141			140		
	商社	1		1	1		1
	建設	44	4	48	43	4	47
	正会員合計	742	233	975	743	227	970
賛助会員							
合計		1349			1331		

④ 東西部会としての毎月のビデオ配信 2021年4月～2022年1月まで

配信動画数 ()内は賛助会員のビデオ	のべ視聴申込数	のべ視聴回数
65 (39)	2493	4862

⑤ 業種別部会 開催状況と参加者数

関東金属機械	全4回開催（オンライン配信3回、オンデマンド配信1回）のべ343名参加
関東電気機器	全4回開催（東西合同1回含み全てオンライン配信）のべ411名参加
関東化学第1	全4回開催（全てオンライン配信）のべ364名参加
関東化学第2・商社	全4回開催（全てオンライン配信）のべ492名参加
関西金属機械	全4回開催（オンライン配信2回、ハイブリッド開催2回）のべ173名参加
関西電気機器	全4回開催（東西合同1回含みオンライン3回、ハイブリッド1回）のべ196名参加
関西化学	全2回開催（全てオンライン配信）のべ191名参加
建設	全5回開催（全てオンライン配信）のべ380名参加





⑥ 知財問題研究会

関東 40社・43名（6グループ） 成果発表（3/4、ハイブリッド開催）

関西 33社・35名（5グループ） 成果発表（3/4、オンライン開催）

東海 11社・12名（3グループ） オンライン中心に活動

⑦ 少数知財研究会

関東 月例：31社・31名（4グループ） 成果発表（2回） 44社・53名（6/8）、
52社・61名（3/9）

関西、東海、中国・四国・九州 月例WG：16社・16名（関西）、9社・11名（東海）
成果発表（2回） 22社・27名（6/8）、40社・47名（3/9）

⑧ JIPA知財フォーラム関西

2021年11月26日（金） オンライン開催 参加：40社・65名（7グループ）

⑨ 委員会とプロジェクト



委員会

21委員会が70テーマについて推進中（223社、延べ635名が参画）

総合企画、人材育成、会誌広報、特許1、特許2、
国際1、国際2、国際3、国際4、
医薬・バイオテクノロジー、ソフトウェア、著作権、
マネジメント1、マネジメント2、情報システム、情報活用、
ライセンス1、ライセンス2、意匠、商標、フェアトレード 各委員会

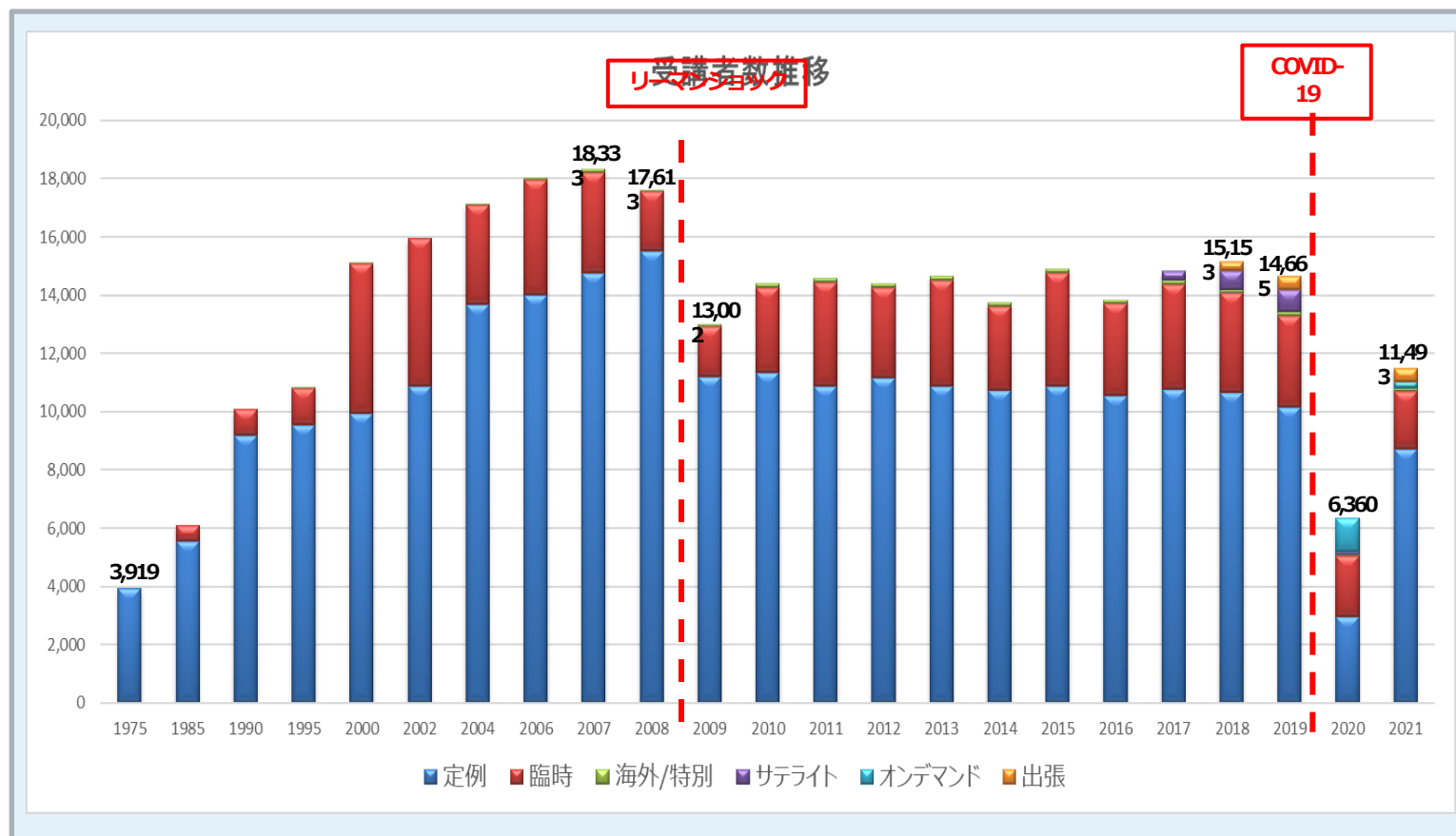
プロジェクト

8プロジェクトで推進中（60社、延べ118名が参画）

第四次産業革命、グローバル模倣品対策、日中企業連携、国際政策、WIPO、
JIPA知財シンポジウム、次世代コンテンツ政策、SDGs 各プロジェクト

⑩ 研修活動の状況

2022年度の研修案内を3月25日にHPオープン、4月8日募集開始



【2021年度 受講者数】

11,493名（昨年度比181%）



*Confidential

⑩ 会誌広報活動の状況

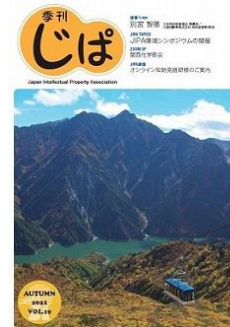
・ 知財管理誌：特集号テーマ

2021年特集号「ヘルスケア×知財」

2022年特集号の予定テーマ

「変わりゆく知財活動－持続可能な社会を目指して－(仮)」

・ 季刊じば：2021年4月、7月、10月、2022年1月号



・ 資料発行：5冊

特許侵害訴訟実務マニュアル（第6版）国際第1委員会

第20回JIPA知財シンポジウム開催報告書 実行委員会

ライセンス契約実務マニュアル ライセンス委員会

知財管理システム導入・更新における留意点 情報システム委員会

知財経営に関する実態調査 JIPA事務局

・ JIPAマガ（国内メルマガ）：毎月2回発行 購読者数4,537名

・ 英文メルマガ（JIPA Newsletter）：年2回発行 購読者数1,630名（56ヶ

目次

1. 2021年度活動概観

方針/重点活動/会員数/東西部会/業種別部会/知財問題研究会/
少数知財研究会/関西フォーラム/委員会・PJ/人材育成事業/会誌広報事業

2. 2021年度感謝表彰者のご紹介

一般感謝表彰/研修感謝表彰

3. JIPA東京事務所移転

日本橋三丁目スクエアビル6F

4. 2021年度の主な活動

JIPA環境シンポジウム/JIPA知財シンポジウム/
国際活動 (IP3・IP5・WIPO)/国内活動 (ダイアログ)/各PJ活動



2. 2021年度感謝表彰 ① 一般感謝表彰 業種別部会担当役員、幹事、委員会正副委員長を 3期以上勤めていただいた方が対象



渡辺 喜彦 様	(花王)	望月 大輔 様	(D Gホールディングス)
美間 忠弘 様	(カシオ計算機)	内山 功典 様	(帝人)
餅田 義久 様	(サカタのタネ)	伴 昌樹 様	(日清製粉グループ本社)
二木 智 様	(サントリー)	都築 俊介 様	(日本ユニシス)
齋藤 充 様	(SUBARU)	首藤 美都子 様	(パナソニック)
吉田 友之 様	(住友金属鉱山)	藤井 慎也 様	(バンダイ)
佐々木 暁嗣 様	(住友ベークライト)	横山 大輔 様	(日立製作所)
佐保 優一 様	(ソフトバンク)	太田 隆之 様	(富士通)
吉武 和志 様	(ダイヘン)	塚原 宇 様	(三井化学アグロ)



2021年度感謝表彰 ② 研修感謝表彰

研修講師を3期以上勤めていただいた方が対象



金澤 祐孝 様	(I H I)
和田 玲子 様	(旭化成)
伊藤 智恵 様	(大塚製薬)
藪田 真太郎 様	(クラレ)
佐野 裕昭 様	(住友電気工業)
今枝 朋子 様	(D Gホールディングス)
大野 泰寛 様	(東リ)
佐藤 美樹代 様	(トクヤマ)
水本 大介 様	(日立製作所)

**皆様のJIPA活動に心より
感謝申し上げます。
ありがとうございました。**

目次

1. 2021年度活動概観

方針/重点活動/会員数/東西部会/業種別部会/知財問題研究会/
少数知財研究会/関西フォーラム/委員会・PJ/人材育成事業/会誌広報事業

2. 2021年度感謝表彰者のご紹介

一般感謝表彰/研修感謝表彰

3. JIPA東京事務所移転 日本橋三丁目スクエアビル6F



4. 2021年度の主な活動

JIPA環境シンポジウム/JIPA知財シンポジウム/
国際活動 (IP3・IP5・WIPO)/国内活動 (ダイアログ)/各PJ活動

3. JIPA東京事務所の5月移転

現在入居している「朝日生命大手町ビル」が2022年秋に取り壊しとなるため、5月初旬に移転する。

移転先は、ハイブリッド会議が多くなることを想定し、通信環境が充実していることと、床面積は現事務所の3分の2程度で十分と考え、東京駅周辺で半年ほど物件を探した。

その結果、**東京都中央区日本橋三丁目9番1号 日本橋三丁目スクエア 6階**に移転することを提案し、理事会により承認された。



東京駅より徒歩7分



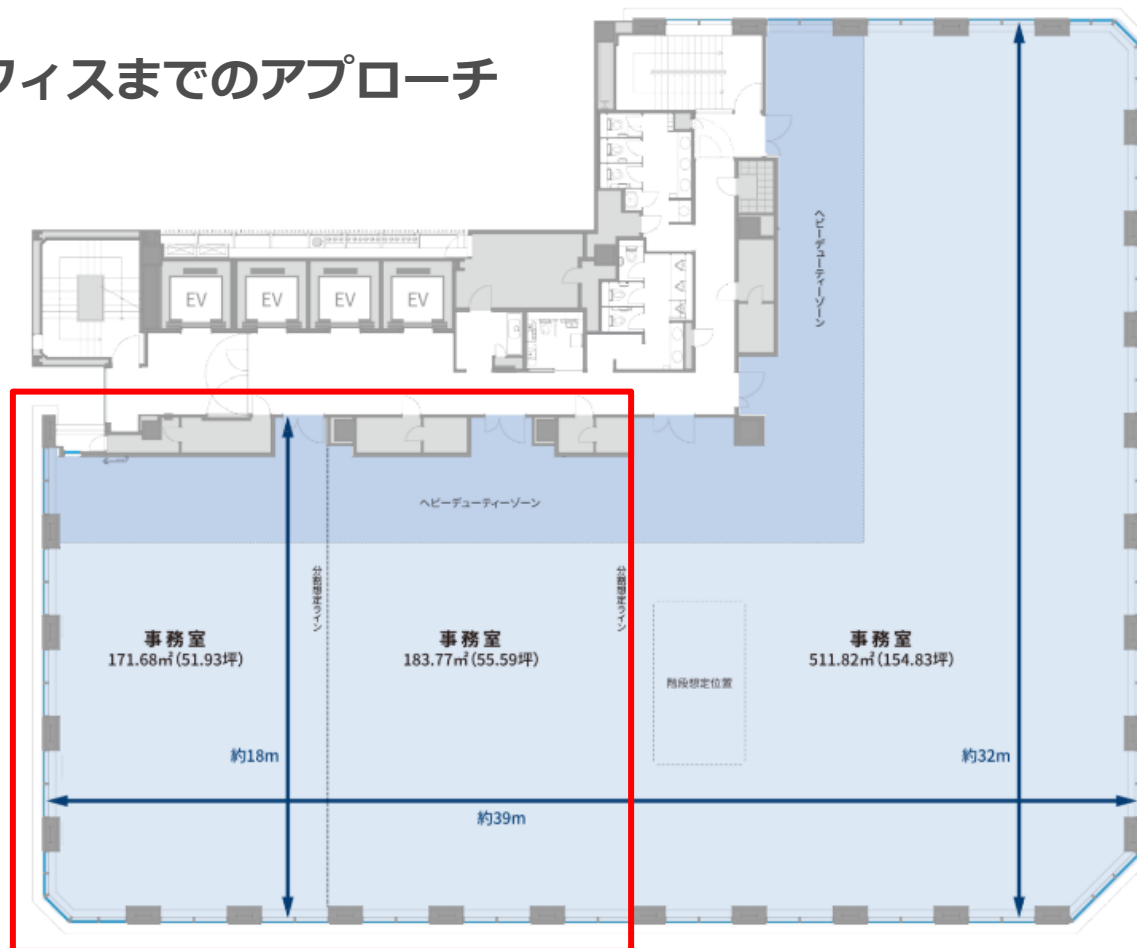
新事務所の情報

○JIPA事務所は6Fになる。（右下はフロアの平面図で、JIPA事務所は赤枠のスペース）
ビル内に貸し会議室、シェアオフィス（2F、3F）などがある

○エントランスからJIPA事務所オフィスまでのアプローチ
にフラップゲートはない

○制振構造、非常用電源がある
○カフェ、コンビニ（1F）がある

新事務所での業務開始は、
2022年5月6日（金）を予定



目次

1. 2021年度活動概観

方針/重点活動/会員数/東西部会/業種別部会/知財問題研究会/
少数知財研究会/関西フォーラム/委員会・PJ/人材育成事業/会誌広報事業

2. 2021年度感謝表彰者のご紹介

一般感謝表彰/研修感謝表彰

3. JIPA東京事務所移転

日本橋三丁目スクエアビル6F



4. 2021年度の主な活動

JIPA環境シンポジウム/JIPA知財シンポジウム/
国際活動 (IP3・IP5・WIPO)/国内活動 (ダイアログ)/各PJ活動

第1回 JIPA 環境 シンポジウム (2021年6月17日開催)

JIPA GREEN Symposium

海洋汚染をテーマにWIPO GREENを活用する

1. JIPA会員企業の技術をショートムービーで紹介
2. ライセンサー候補へのコンタクト



柵山会長、糟谷長官、ピーターオクセン(WIPO)、
シンシアカナディ(IPSEVA)、SDGs PJメンバー による英語スピーチ

JIPA史上初めての国際オンラインイベント

(ビデオには英語/日本語字幕をつけた)

アクセス数：1,918 (約10%が、海外からのアクセス)

アメリカ、アルゼンチン、インド、インドネシア、グアテマラ、ケニア、コロンビア、
ジャマイカ、シンガポール、ジンバブエ、スイス、スリランカ、タイ、チリ、
ナイジェリア、パキスタン、バルバドス、フィリピン、ブラジル、ベトナム、マレーシア、
ミャンマー、メキシコ、ヨルダン、台湾、香港、中国、南アフリカなど、**28か国から**

第21回JIPA知財シンポジウム（2022年2月2日開催）

SDGsに向けた日本企業の成長

～イノベーションを興し、知的財産で加速する～

東京国際フォーラム ホールCよりライブ発信
視聴申し込み1300名+

柵山会長、森長官、ダレン・タン事務局長
別宮理事長によるスピーチ
西口尚宏代表理事（JIN）による基調講演



・パネルディスカッション

「SDGs X 知財 ～イノベーションを興す知財の役割～」

委員募集の委員会PRも兼ねたポスターセッションも同時開催
シンポジウムでの発言記録は、別途報告書にして会員に配布する予定です。

JIPA各プロジェクト・研究会の動き



日中企業連携PJ： 9月北京(PPAC)と知財の役割・活用のワークショップ、11月広州と環境への知財の貢献のシンポジウム開催、3月24日「イノベーションを興す知財の役割」フォーラム開催。

第四次産業革命PJ： ISO56005（知財管理）、ISO22386（ブランド保護）について検討・JINや日本規格協会に意見発信。ISO/TC279の国内審議委員会に別宮理事長が委員として参加。

経済安全保障研究会： 経団連国際経済本部、東京大、警察庁、公安調査庁と情報交換。警察庁によるJIPA日本企業向けビデオ「技術情報等流出をめぐる現状と課題について」の動画配信)

次世代コンテンツPJ： DX時代に対応した著作権制度・政策の在り方に関する文化審議会の小委員会で意見発表。

グローバル模倣品対策プロジェクト

ブラジル、タイ、シンガポールのジェトロと意見交換。



主な国際会議へのJIPA参加状況

IP3/5対応：国際政策PJ

日中企業連携ワークショップ、フォーラム開催：日中企業連携PJ

WIPO 加盟国総会出席：WIPO PJ

WIPO SCP参加：医薬バイオ委員会

WIPO PCT作業部会参加：国際第2委員会

WIPOマドリッド作業部会参加：商標委員会

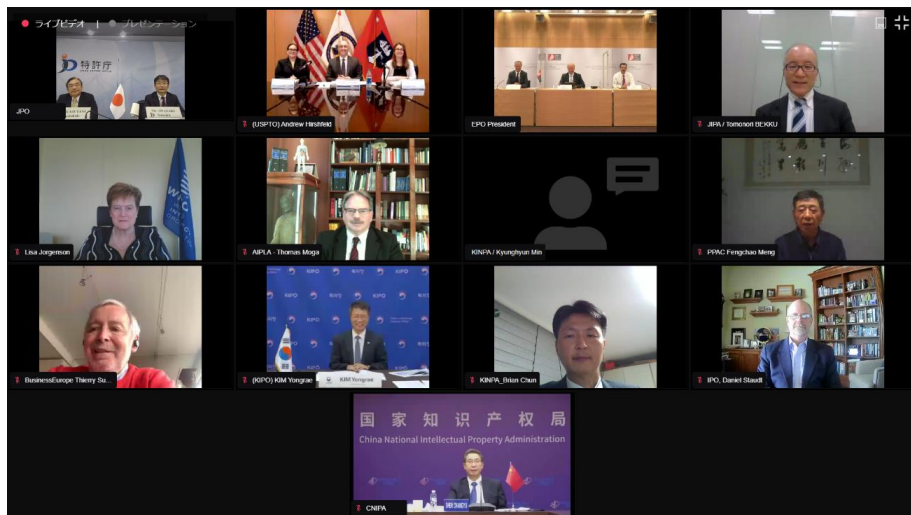
WIPO加盟国総会での別宮理事長メッセージ

JIPAの取り組みの紹介とWIPOへの協力

WIPO後援のもと、JIPA 環境シンポジウムをオンライン開催し、環境問題における知財の役割とWIPO Greenの活用について、世界に向けてメッセージを発信したことなど



IP3/IP5会合では「SDG s と知財」がホットトピック



IP5長官・ユーザー会合 2021年6月22日開催

「コロナ禍におけるIP5協力」など『知財によるSDG s への貢献』につき、庁・ユーザ双方より現状取組の情報共有や意見交換を行った。



IP3長官・ユーザー会合 2021年11月16日開催

JIPA理事長が日本特許庁長官とともに共同議長をつとめた。

「知財と環境問題」『WIPO GREEN』を含む庁・ユーザ双方の現状取組の情報共有や意見交換。



特許庁・内閣府知財戦略推進事務局とのダイアログ



2021年 5月、7月（2回）、8月、9月（3回）、11月
に開催した。

特許庁長官、内閣府知財戦略推進事務局長、
JIPA正副会長、正副理事長、参与が参加

内容は多岐にわたるが（例えばINPITの経営評価なども含む）

特許庁の最大関心事項は、近年の国内外の出願件数が、日本は特許、PCT,
とも減少している(意匠、商標の出願件数は横ばい) ことにより、日本で
知財を活性化させ、これを増やしたい。

過去4年の1－9月のデータ比較

	(特許出願件数)	(PCT出願件数)
2018年	234,337	36,627
2019年	231,436	38,674
2020年	217,409	37,398
2021年	213,621	36,368

内閣府知財戦略推進事務局のテーマ



2021年度 コーポレートガバナンスガイドライン

『知財・無形資産の投資・活用戦略の開示及びガバナンスに関するガイドライン（仮称）案』が2021年12月27日から1月7日のパブコメにかけられた。

無形資産が、競争力の源泉として重要な経営資源となっているので、無形資産に投資・・・企業ごとのクリエイティブな発想にもとづく、開示、発信を促すことが、投資家・金融機関を始めとするステークホルダーとの有効な対話やエンゲージメントにつながるとの観点から、・・・企業の自由度を確保した任意の開示を促す。

2022年度 新しいテーマ

スタートアップの知財戦略支援サービスのエコシステム化
大学からスタートアップへの技術移転をめぐる障壁除去（共有制度の見直しなど）
大企業による経営アセットのスタートアップへの提供促進
知財の見える化を起点としたマッチング・エコシステムの構築



一般社団法人
日本知的財産協会
Japan Intellectual Property Association



一般社団法人
日本知的財産協会
Japan Intellectual Property Association



一般社団法人
日本知的財産協会
Japan Intellectual Property Association



一般社団法人
日本知的財産協会
Japan Intellectual Property Association

**皆さん オンライン+リアルの活用で
元気に活動していきましょう！**

一般社団法人
日本知的財産協会
Japan Intellectual Property Association



一般社団法人
日本知的財産協会
Japan Intellectual Property Association



一般社団法人
日本知的財産協会
Japan Intellectual Property Association



一般社団法人
日本知的財産協会
Japan Intellectual Property Association



一般社団法人
日本知的財産協会
Japan Intellectual Property Association



一般社団法人
日本知的財産協会
Japan Intellectual Property Association



一般社団法人
日本知的財産協会
Japan Intellectual Property Association



一般社団法人
日本知的財産協会
Japan Intellectual Property Association



*Confidential